

# 事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No.	1092	(H.24)No.	1092
-----------	------	-----------	------

事務事業名 <b>農地基本台帳事業</b>			
担当部局名		担当室名	
農業委員会事務局		農業委員会事務局	
室長名		連絡先	
秋永 正人		63-7665	
新・継	事業期間		根拠法令等
新規	平成 22 年度 ~ 平成 年度		

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
	特別及び企業会計、組合

## 1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	2	美しい自然に包まれた、憩いと潤いのある暮らし
	基本政策	3	新しい名張農業の振興と農山村の整備
	施策	1	農村環境整備
	小施策	1	魅力ある農業づくり
重点施策コード			

## 2. 予算区分

会計区分		事業コード	291501
一般会計		(中事業名)	予算書事業名
款	農林水産業費	農地基本台帳事業	
項	農業費	(小事業名)	
目	農業委員会費	農地基本台帳事業	

## 3. 事務事業の概要

事業概要	
<p>農業委員の法令事務処理に必要な資料として整備が義務付けられている農地基本台帳の管理を行う。(昭和60年農林水産省次官通知)</p> <p>・農家の経営農地面積等詳細情報の整理把握</p>	

めざす効果(事業目的)
<p>電子化したデータを用い、農業委員会の業務の省力化とデータの有効利用、適正管理。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個々の農家の正確な経営面積の把握</li> <li>・選挙人名簿搭載申請の定期審査に利用</li> <li>・農業委員会選挙人名簿搭載申請書の審査に利用</li> </ul> <p>耕作放棄地の解消及び発生防止対策の推進</p>

## 4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成23年度 (実績・決算見込)	平成24年度 (計画・作成時予算額)	現在の実施手法(複数選択可)		
	[事業内容(事業量)・事業費]	[事業内容(事業量)・事業費]	市が直接実施	業務委託(全部・一部)により実施	指定管理
主な事業の実績・計画	農地基本台帳電算化システム等導入 3,150千円	農地基本台帳システム等保守委託料他 300千円	補助金・交付金	その他 ( )	
			平成25年度 (計画)	平成26年度 (計画)	平成27年度 (計画)
			農地基本台帳電算化に係るパソコン等保守委託料 210千円	農地基本台帳電算化に係るパソコン等保守委託料 210千円	農地基本台帳電算化に係るパソコン等保守委託料 210千円
<b>直接事業費</b>	<b>3,150千円</b>	<b>300千円</b>	<b>210千円</b>	<b>210千円</b>	<b>210千円</b>
財源内訳 (千円)	国庫支出金				
	県支出金	2,887			
	地方債				
	その他( )				
一般財源	(0) 0	300	210	210	210
人工数	職員	0.20人	0.20人	0.20人	0.20人
	臨時職員等				
<b>概算人件費</b>	<b>(0千円) 1,460千円</b>	<b>1,460千円</b>	<b>1,460千円</b>	<b>1,460千円</b>	<b>1,460千円</b>
<b>+ 総事業費</b>	<b>(0千円) 4,610千円</b>	<b>1,760千円</b>	<b>1,670千円</b>	<b>1,670千円</b>	<b>1,670千円</b>

概算人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。平成23年度の( )内の数値は、22年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。特別会計及び組合会計の一般財源欄には当該会計上の一般財源を、企業会計の一般財源欄には一般会計繰入金を記載しています。平成25年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

### 5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
活動指標	目標	%	-	-	-	-	4.3
	実績		3.3	4.3	4.3	2.7	
	目標						
	実績						
	目標						
	実績						

### 6. 考察(前年度の評価)及び今後の対応方針

考察(前年度の評価-各指標等)	今後の対応方針
農地基本台帳システムの電算化が23年度に完了した。	耕作放棄地対策(耕作をしたい人と耕作を任せたい人とのマッチング等)に活用する。

### 7. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・議会・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見
耕作放棄地が増加している。耕作者の後継者不足がその一因であるが、その対策(農地銀行の取り組み推進等)には、基礎データの効果的な活用が求められている。	

### 8. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

点検項目	具体的内容(選択肢 ・ の場合) (4)は の場合
(1) 現在の事業費内で、更に効果を高める方法や工夫等を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない 検討余地がある	耕作放棄地調査のデータ等とのマッチングにより、効率的効果的な活用を目指す。
(2) 効果・効率性の観点から他の事務事業と連携・統合を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	
(3) 新たな財源確保や受益者負担の見直し等を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	
(4) 事業に関係する地域ビジョン(地区別計画含む)はあるか [選択肢] ある ない ない	
(5) 事業に地域ビジョンの内容を反映しているか(反映するか) [選択肢] 反映済み 反映を予定 反映予定なし(該当しない) 反映予定なし(該当しない)	
(6) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	

### 9. 今後の方向性(担当室による内部評価)

[選択肢] 継続(事務改善) 継続(現行) 継続(拡大) 休止・廃止検討 事業完了(完了予定含む)
継続(事務改善)
「継続(現行)」の場合のみ理由を記載

特記事項
台帳の電算化により、農業委員会の法令事務執行の効率化を図る。